

授業科目(ナンバリング)	海外観光資源 A (CB106) (実践的教育科目)			担当教員	竹田 文雄 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
海外の国・地域への関心を高め、以降の国際観光資源の学修の基礎を固めることに主眼を置く。 ・主に地理、観光、世界遺産、名物料理、を把握しながら、その地域の観光資源を理解する。 ・総合旅行業務取扱管理者試験「海外観光資源」出題に対応する基本知識を学修する。 ・対象地域は、ヨーロッパと南北アメリカとする。							②⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	対象国の観光資源について、その所在地、特色、観光的見どころ等を理解し、説明することができる。				・随時試験	60%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	学内外での授業への積極的な参画、およびアクティブラーニングの実践ができる。				・授業参画度	15%	
協働・課題解決力							
多様性理解力	主要観光資源の歴史的、文化的背景の多様性を理解し、説明することができる。				・随時試験	25%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
随時試験 25点 (授業の理解度。ポートフォリオ小テスト。授業10回目に実施。) 随時試験 60点 (授業の理解度及び明解度。ポートフォリオ小テスト。授業第15回目に実施。) 授業参画度 15点 (授業課題への取り組み姿勢、質問・コメント等の有無とその回数。) 諸々のフィードバックは、ポートフォリオを用いて、または授業時間内に適宜実施していく。							
授業の概要							
担当教員の海外旅行事業実務経験(海外商品企画事業・国内商品企画事業・米国現地法人代表・イタリア勤務等)と知見を踏まえた実践的授業である。この授業は、①予習：教科書の事前読み込み、②授業時：各観光地解説とビジュアル資料使用による理解の深化、③復習：授業での説明ポイントを教科書で再確認、のサイクルにて学生が自発的に学修することで確実な認識と理解を定着させることを主眼とする。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：『旅行業実務シリーズ⑦ 海外旅行実務－海外観光資源』JTB総合研究所 参考書：授業中に適宜紹介。 指定図書：『ヨーロッパものしり紀行』くらしとグルメ編 紅山雪夫著 新潮文庫							
授業外における学修及び学生に期待すること							
この地域の観光資源は、美しく、かつ歴史的・文化的に魅力あふれるものばかりである。総合旅行業務取扱管理者試験対策では知識の積み上げが必要なので予習と復習による知識の定着が不可欠であるが、受講に際してはまずこの地域に興味を持ち、現地に行ってみたく感じて欲しい。また日頃から世界地図を頭に描けるように世界の動向に注目していくことに期待する。加えて「欠席・遅刻・早退・私語」の無い授業進行への参画も期待する。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習 ・教科書読込みが中心。 ・予習は書き出すこと。
1	授業の導入 オランダ	授業の進め方のガイダンス。 オランダの観光資源とその特徴を概観する。	オランダの観光資源とフェルメール、ライクスマニエールについて。
2	イギリス	イギリスの観光資源とその特徴を概観する。	イギリスの観光資源と国を構成する4カントリーの特徴について。
3	北欧諸国	ノルウェー、スウェーデン、デンマーク、フィンランド4カ国の観光資源とその特徴を概観する。	スカンディナヴィア諸国の観光資源とフィヨルド、スオミについて。
4	ドイツ	ドイツの観光資源とその特徴を概観する。	ドイツの観光資源とロマンチック街道とその3つの城壁都市について。
5	スイスとオーストリア	スイス、オーストリアの観光資源とその特徴を概観する。	両国の観光資源とユングフラウ三峰、グリンデルワルドについて。
6	フランス	パリとフランス各地域の代表的な観光資源とその特徴を概観する。	フランス各地域に広がる観光資源について。
7	イタリア (1) ローマとヴァチカン市国	ローマとヴァチカン市国の観光資源とその特徴を概観する。	古代ローマの遺跡とサンピエトロ寺院、ヴァチカン市国の衛兵について。
8	イタリア (2) その他のイタリアの都市	その他のイタリア都市の観光資源とその特徴を概観する。	イタリア各地域に広がる観光資源とトスカナ地方、東方見聞録について。
9	スペインとポルトガル	スペインとポルトガルの観光資源とその特徴を概観する。	イベリア半島の観光資源とバスク地方、サグラダファミリアについて。
10	ギリシャ	ギリシャの観光資源とその特徴を概観する。	ギリシャの観光資源とパルテノン神殿、メテオラ、ムサカについて。
11	ロシアと東ヨーロッパ諸国	ロシア、チェコ、ポーランド、ハンガリー、バルト3国などの観光資源とその特徴を概観する。	各国観光資源とウラジオストック、カルロヴィ・ヴァリ、カレル橋について。
12	アメリカ合衆国 (1)	アメリカ合衆国東部の観光資源とその特徴を概観する。	米国東部の観光資源、マウンテンビュー、世界を照らす自由について。
13	アメリカ合衆国 (2)	アメリカ合衆国西部の観光資源とその特徴を概観する。	米国西部の観光資源、ラスベガス、アンテロープキャニオンについて。
14	カナダ・メキシコ・中南米諸国	カナダ、メキシコと中南米諸国の主たる観光資源とその特徴を概観する。	対象諸国の観光資源、アステカ・マヤ・インカ文明、ハイラムビンガム号、セノーテ、ケベックについて。
15	総復習 期末随時試験	総復習。 これまでの学修内容の習得度、理解度に関して試験を行う。	予:14週までの授業全体のレビュー。